

特集

因島市PTA連合会 会長 座談会

因島の子どもたちと歩み続けた因島市PTA

因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会 会長 竹中啓修 事務局: 因島高校PTA 10845-24-1281 題字 竹中啓修

来年1月、因島市は、尾道市に編入合併されま... 因島市教育委員会もな... 因島市PTA連合会は、尾道市PTA連合会に統合の予定です。

長い間、因島市のこと... いただいた成長をばぐく... できた因島市PTA連合... 会の会長諸氏が、11月9... 日集まり、PTAの思い... 出、また、将来への願... などを語りあいました。

来賓

- 因島市教育長 宮地 康福
因島高校を支援する会会長 竹中 啓修
因島市教育委員会学校教育課長 柏原 知己
因島市PTA連合会 村上 裕章
平成6年度市P連会長 村上 圭一
平成7年度市P連会長 村上 公俊
平成8年度市P連会長 村上 哲司
平成9年度市P連会長 村上 貴裕
平成11年度市P連会長 村上 貴裕
平成12・14年度市P連会長 岡野 長寿
平成13年度市P連会長 小川 佳孝
平成15年度市P連会長 窪田 秀和
平成16年度市P連会長 柏原 功
平成17年度市P連会長



会談風景



因島市教育長 宮地 康福

宮地康福教育長 皆さん、今晩は。先日、因島高校を支援する会の幹事の村井圭一君より、「因島教育の再生に向け、中心的に、ご支援ご協力をいただいた皆様方に、当時のご苦労と今日までの経過を再認識することで今後の因島高校を支援する会等の次へのステップとさせたい」とお伺いし、この会の開催に大賛成いたしました。

お陰様で、皆さんのお力添えの中、「因島の教育も少しずつ向上しつつある」と改めて感謝しております。本日はよろしくお願ひ申し上げます。



因島高校を支援する会会長 竹中 啓修

竹中啓修因島高校支援する会会長市P連会長をしてこられたみなさん、ご苦労様でした。私は、柏原敏喜さんが市P連会長のとき、副会長をしました。又、因島高校を支援する会にご協力感謝します。

村上裕章 市P連の主な行事としては、ビーチ大会、研究発表など、おこなっていますねえ。毎年、どこが担当するか決めるのが大変でしたのでこれを順番制にすることを提案協議しました。お互い準備も心構えもできるし、次からスムーズに流れるようになったと思います。

村上公俊 こどもや学校のこ

とは母親の役割という考えでまったく無関心であったが、PTAの役を受けることになり、我が子のことだけでなく地域の教育力が多様化している今日、地域の教育力をつけていくことの重要性を感じて取り組んできました。



平成9年度市P連会長 村上 哲司

村上哲司 私もこどもが小学校まではPTAには無縁でした。平成9年、因島高校と因島北高校の統合の話があり、市P連では、市教職員代表と何度か会合の中で、「高校の統合により、入学定員が減ったら、高校で学びたいと願望のある生徒が、落とされることにならないよう、配慮してほしい」と要望がありました。高校統合の件で、市P連で広島県木曾教育長のところに陳情に行きました。



平成7年度市P連会長 村井 圭一

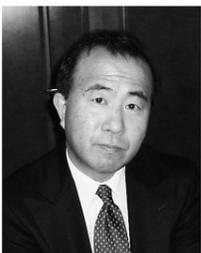
村井圭一 そのご縁で、その年、木曾教育長に市P連研究大会の講演をお願いしました。県の教育長に因島で講演していただいたのは、初めてと伺いました。当時、教育問題が叫ばれていた頃でしたが、木曾教育長は、「PTAと先生との間で意見の食い違いがあったら、親としての願いをPTAの立場で先生方に訴えていくことが大切だ」と話されていました。



平成6年度市P連会長 村上 裕章

村上裕章 教職員組合とイデオロギーの違いで、PTA活動も難しい時代でした。

村上哲司 子どもに対する犯罪が増えてきて、「こども110番」の看板を設置しようということになりましたが予算がないので、区長連合会に補助をお願いしました。



平成11年度市P連会長 村上 貴裕

村上貴裕 私の時には、広島県大会が尾道であったり、全国大会が愛媛県であったり、大会に参加しましたが、愛媛県が教育県であることを痛感し、PTAも努力しなくては感じました。

岡野長寿 私は、村上会長が実施してほしいと教育委員会に陳情しました。いったい、我が子の学力はどの程度か、因島のこどもは広島県どの位置にあるのか、「全国では...」ということですが、それ

では、漠然とした相対評価でしたから。学力実態テスト実施の予算がないというので、バスで遠足に行かなくてもいいから、その予算をまわしてほしいと、訴えました。

教科書問題では、市議会にPTAの請願書を提出しました。教科書選定委員に選任され、いろいろな教科書を見ました。

翌年度の広島県PTA大会を因島で主管するよう頼まれて、翌年度を迎えましたが、残念ながら、会長の村上宏君が途中で亡くなりました。村上宏君は、市P連会長を受けるときに、既に不治の病に冒されていることは、本人も承知でした。「こどもたちのために今やらないといけないことがある。」と、学校や教育委員会にも積極的に話した。10月に亡くなりました。

柏原知己学校教育課長 村上宏さんが市P連会長のとき、土生小学校の教頭でしたので市P連の事務局としてお手伝いさせていただきました。病床で、PTA要望書を奥さんに口述筆記をさせて教育委員会に持って行かせていたそうです。その熱意には頭が下がります。



平成13年度市P連会長 岡野 長寿

岡野長寿 私は、村上会長が実施してほしいと教育委員会に陳情しました。いったい、我が子の学力はどの程度か、因島のこどもは広島県どの位置にあるのか、「全国では...」ということですが、それ

県PTA大会は、楠見さんに実行委員長をしていただき、準備に大変でした。県内の会員を水軍武者の格好でお迎えしようという道々にたちまち陣笠が案内して、会場の市民会館に近づくに連れて、鎧の武者が歓迎している。大成功でした。みんな喜んでくれました。



平成12年度市P連会長 楠見 由活

楠見由活 新しい因島高校が発足し、市民みんなできりくもうというところで、市P連の立場から、お手伝いさせてもらいました。

村井圭一 私は、当時、因島高校のPTA役員をしていましたが、学校も荒れており、生徒も茶髪、サンダルばき、遅刻は半数以上。授業態度も悪く、びっくりでした。市内中学生の因島高校への進学率は、毎年下がっていました。2校が統合されたものの先生も生徒も不安な状態でした。このままではいけない、島にひとつの高校を守ろうと、高校同窓会、高校PTA、市P連が、一緒になって、因島高校を支援する会を作りました。

竹中啓修 ありがとうございます。おかげで、因島全体で高校を支援しようという機運が盛り上がり、先生方やPTAの努力もあって、市民のみなさんの期待を受けて、よくなってきました。

小川佳孝 私は、県PTAとのパイプ造りに力を入れました。単Pの会長のあり方についても考えていかななくてはな

最後の因島市P連研究大会のご案内

因島市内のPTA会員が一堂に会し、心豊かたたくましい子どもたちの育成の取り組みを推進しましょう。

とき 12月11日(日)
ところ 因島市民会館

9:30 講演 因島市学校医 鈴木敏秋先生
10:10 実践交流 「子どもの居場所づくり」
11:00 講演 東海大学 教育開発研究所 教授 秋山 仁先生
「みんなで楽しむ発見発明教室」

らないと思います。充実した1年でした。因島市P連が、全国表彰を受けましたが、先輩諸氏、会員みなさんの努力の賜物と感謝しています。ピーチが、少しブームがさがってきたような感じもありましたが、また、メンバーが変わって盛り上がりしてきました。学校間で、熱心さの度合、温度差があるのを感じましたね。

窪田秀和 それまで因島と瀬戸田の合併の方針でしたので、お互いのPTAも交流を重ねていきましたが、9月に因島市は、急に尾道との合併に変更したので、尾道PTAと会合もつきました。御調、向島の合併協定書の写しをもらって、市P連の中に、委員会を設置して、合併の研究をすることにした。賛成反対の意見が出て、方向性が定まりませんでした。

柏原 功 伝統ある市P連の最後の会長になり、責任を感じています。

情熱をもって、取り組んでいこうと考えています。尾道市PTAと、合併について数回、協議を開きました。合併協議書によれば、尾道への編入合併で、私たちの要望は、あまり取り入れてもらっていない。尾道と同じ土俵の上にあがって一緒にやっていたら、不安です。

楠見由活 私は、PTA合併協議に顧問として出席しています。尾道の考えでは、全市を中学校校区ごとに、わけるという考えでしたが、因島プロックをつくり、その中に因島市内の小中PTAが所属というように、要望しました。因島内で、協議したり親睦を深めることも必要です。

尾道PTAは現在、事務員を1人雇用しているが、因島と瀬戸田が合併すると事務員が増えるので、もう1人雇用しなくては行けないと言っています。それではもったいないので、自分たちで手分けしてボランティアして、その分活動費に充てた方がいい、と提案しました。



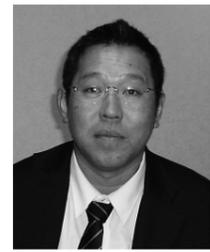
平成15年度市P連会長 小川佳孝

村上貴裕 因島市PTA連合会50周年の行事を行いました。因島市が、誕生するより、5年早く、因島市PTA連合会ができていたんですね。

小川佳孝 因島市制50周年の年でした。市制50周年委員会委員に選ばれて、記念行事として、「50メートルジャンボ巻き寿司をつくらう」ということになりました。市P連からも、何人か参加してもらいましたが、できあがって参

加者全員が両手で50メートルジャンボ巻き寿司を持ち上げた時は、感激しましたね。

村上貴裕 私は銀行マンで、転勤族でした。こどもが、学校転校で自分のふるさとをもちたないこどもにしてはいけないと思ひ、退職して因島に帰ってきました。転校することでも、学校卒業後、も定まるころが無い、子供のためには、同じ土地で過ごさせてやりたいと思ひます。重井では、42とか、33のとき、同級生が集まり、ふるさとを語りあひます。



平成17年度市P連会長 柏原 功

柏原 功 最後のPTA研究会を12月11日に行います。市民会館で、島内500人のPTA会員に集合してもらおうと張り切っています。ぜひ、みなさんもご参加ください。

村上貴裕 平成8年度市P連会長 村上公俊

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。



因島市教育委員会学校教育課長 柏原知己

窪田秀和 長年PTAにかかわって思うことは、自分のことを大事にするが、相手のことを思いやらない人が多いことです。

水軍まつりの小早レースに子どもたちが参加しました。このとき、一緒に参加した子どもは、街であつても、あいさつしてくれる。地域とのふれあひを感じます。学力だけでなく、学校、PTA、地域と、こどもたちとの触れ合いを大切に人間性を感じさせることが、大事です。

宮地教育長 本日はどうもありがとうございました。

私、市P連のあと、因島高校PTAや支援する会役員をやっています。その時の仲間、NPO(特定非営利活動法人)をつくらうと準備中です。その節には、市P連会長をしてきたみなさんにも、ご協力願ひたいと思ひます。

村上公俊 平成8年度市P連会長 村上公俊

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。

村上公俊 これからも集まって、将来の因島を背負ってつ子供たちのために、話し合いの場を設けたいですね。

福島萬治さん 卓球教室開く

今年夏も福島萬治さんが因島で専修大学卓球部の合宿をおこなった。市内の中学校生も勤労青少年ホームで卓球の指導を受けた。

福島萬治さんは、「親が『羨ましくありません。』と、学校やスポーツ指導者に頼むべきではない。親の姿を見て、子どもは大きくなるのだ。』都会では、サラリーマンが飲んだ後ネクタイやハイヒールを脱いで夜遅くまで卓球を楽しんでいる。卓球が広く親しまれるようになってほしい。」と話していました。

福島萬治さんは、因島高校10年生で、因島高校を県優勝へ導き、全国大会準優勝。卒業後、専修大学進学。国内外で活躍中である。

因島青年会議所 合併シンポジウム

10月18日、因島青年会議所(元光文理事長)は、「合併シンポジウム(合併まであとわずか)」を芸予文化情報センターで開催した。上下高校を発展させる会会長の安原定子さんが基調講演をおこなった。

安原さんは元上下町教育長で、府中市と合併した上下町の文化教育向上を進めるために、NPO国際交流協会を設立し中国との交流を続けたり、上下高校を発展させる会をつくり活躍中であり、合併を控えた因島市民に熱心に語り掛けました。

因島高校 浜田佳宏監督講演会

因島せとうちライオンズクラブ(毛利正行会長)は10月5日、ナナイック城山で開かれた例年因島高校の体操部浜田佳宏監督の講演会をおこなった。体操部ホープの田頭剛君(3年)を小さいころから、今日まで育てた人である。田頭剛君は、体操の強い高校からも誘いがあつたが恩師のいる因島高校に入学した。「因島高校の名前を全国にひびかせたい。」

田頭剛君は、中国高校体操競技大会で個人総合優勝。広島市で行われた県高校総合体育大会(県総体)において2年連続で個人総合優勝。第21回全国高等学校体操競技選抜大会で跳馬1位、総合5位など活躍している。

因島せとうちライオンズ 合併シンポジウム

10月18日、因島青年会議所(元光文理事長)は、「合併シンポジウム(合併まであとわずか)」を芸予文化情報センターで開催した。上下高校を発展させる会会長の安原定子さんが基調講演をおこなった。

安原さんは元上下町教育長で、府中市と合併した上下町の文化教育向上を進めるために、NPO国際交流協会を設立し中国との交流を続けたり、上下高校を発展させる会をつくり活躍中であり、合併を控えた因島市民に熱心に語り掛けました。

因島せとうちライオンズ 合併シンポジウム

10月18日、因島青年会議所(元光文理事長)は、「合併シンポジウム(合併まであとわずか)」を芸予文化情報センターで開催した。上下高校を発展させる会会長の安原定子さんが基調講演をおこなった。

安原さんは元上下町教育長で、府中市と合併した上下町の文化教育向上を進めるために、NPO国際交流協会を設立し中国との交流を続けたり、上下高校を発展させる会をつくり活躍中であり、合併を控えた因島市民に熱心に語り掛けました。

因島青年会議所 合併シンポジウム

10月18日、因島青年会議所(元光文理事長)は、「合併シンポジウム(合併まであとわずか)」を芸予文化情報センターで開催した。上下高校を発展させる会会長の安原定子さんが基調講演をおこなった。

安原さんは元上下町教育長で、府中市と合併した上下町の文化教育向上を進めるために、NPO国際交流協会を設立し中国との交流を続けたり、上下高校を発展させる会をつくり活躍中であり、合併を控えた因島市民に熱心に語り掛けました。